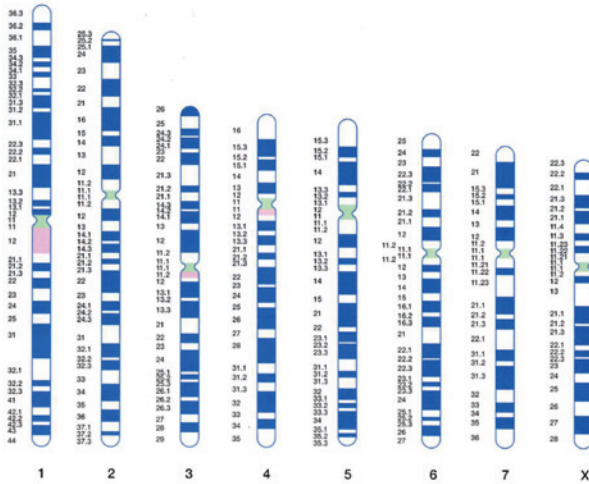


# eラーニングによる地域住民と本学学生の染色体・遺伝子解析技術教育システム



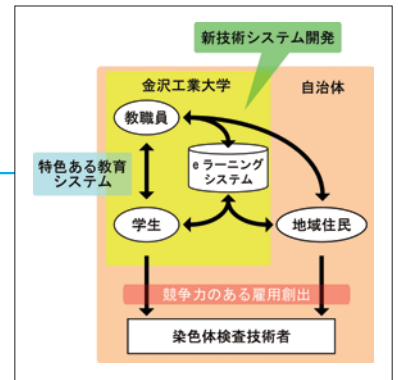
## ●プロジェクト代表者

坂本 香織 (バイオ・化学部応用バイオ学科 准教授)

## ●プロジェクトメンバー

小木美恵子 (バイオ・化学部応用バイオ学科 教授)

吉澤 達也 (バイオ・化学部応用バイオ学科 教授)



## ヒトゲノムを学びやすく、もっと身近に

現在、わが国では遺伝子や染色体の解析を担当する技術者の育成が急務となっています。染色体分析は、機械による自動化ができず、標本作成から異常判定まで、すべて人が行います。また、熟練者が初心者に対面で教える方法が一般的のため、染色体解析技術者は全国でわずか数百人に留まっています。国も技術者の育成に力を入れているものの、北陸には育成機関がなく、ヒトゲノムに対する意識も低いまです。

本プロジェクトは、染色体分析を独学できるeラーニング(電子機器を利用した学習)を用いて、ヒトゲノムに関する教育や啓蒙を地域の方々と本学学生に実施します。染色体解析に関するeラーニング用ソフトは、すでに開発に成功し、実用化に至りました。また、異常染色体を判定する新規アルゴリズムも開発中で、実用化まであと一歩のところまで進んでいます。

このほか、本プロジェクト担当教員が「第2期ほくりく健康創造クラスター」に参画し、染色体・遺伝子解析技術の一つとして、出生診断のための高感度FISH法を確立。金沢医科大学発ベンチャーにも貢献しました。これらの成果をもとに、野々市市や金沢市と連携し、地域社会全体



にヒトゲノムプロジェクトの理解が深まるよう努めます。

## 質の高い健康診断システムの実現を目指す

ゲノム(染色体・遺伝情報)医学に基いた新概念の医療システムの構築が次世代医療のテーマとなっています。本プロジェクトではその先駆けとして、保健教育や啓蒙活動に取り組むほか、温泉と医療を連携させ、温泉に泊まりながら高品質の健康診断を行う「健康プロジェクト構想」の一端を担う予定です。

本事業の目標を実現するため、今後、地域社会と次のような関係を築いていきます。関心を持たれた皆様の参加をお待ちしています。

### 自治体・医療機関

ゲノム医学に基づく診断・治療・予防法に新たな概念を取り入れた医療システムの構築を支援します。

### 地域住民

野々市市と金沢市の市民を対象に、公開講座や市民セミナーなど、ヒトゲノムに関する啓蒙活動を行います。

### 企業

染色体の臨床検査の現場に欠かせない染色体解析技術者の養成システムを地域で事業化します。また、質の高い健康診断システムの実現に向け、イノベーション(技術革新)を創成します。本プロジェクトで蓄積された研究シーズも積極的に公開し、企業の皆様に活用していただきます。